

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス にこり		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児を安全にお預かりできる	医療的ケア区分に合わせた看護師配置を行い、自宅と同じように必要なケアを行いながら、体調を整えられるよう支援を行っている。	医療スタッフで情報共有を密に行いながら、積極的に勉強会も取り入れ、知識を更新しながら安全なケアを提供できるようにしていく。
2	こどもの楽しいを最優先にした関わり	できないと決めつけるのではなく、どうやったらできるのか、リスク管理を十分に行った上で楽しく活動に参加できるよう支援している。	こどもの可能性を引き出せるよう、日頃から注意深く観察を行い、できること・好きなことをたくさん増やしていくような支援プログラムを提供していく。
3	急な困り事への柔軟な対応	ご家族の困り事に寄り添えるよう、スケジュール調整等できる限りの対応はさせていただいている。	今後も十分なスタッフ配置を行い、またスタッフが定着できるように職場環境づくりに努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内の狭さ	既存の古民家を事業所として使用しているため	こども達の成長につれて更に狭さを感じるようになって思うので、事業所内の部屋の使用方法について都度検討していく。
2	クッションチェアや療育訓練用具の不足	こども達が安楽に過ごせるようシュクレは所持しているが、大きくなってくると布団に臥床か抱っこしか選択肢がない。また自己で座位保持できるこどもへもそれぞれに適切な高さの椅子・机が揃っていない。	成長に合わせて、集中して訓練に取り組めるような環境設定を行えるよう必要物品を揃えていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		子どもデイサービス にこり				公表日	2025 年 4 月 1 日		
						利用児童数	14人	回収数	12人
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				十分な広さだと思う。	今後も整理整頓を行い、安全に活動できるスペースの確保に努めます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%				大人が多くて安心できる。	基準配置を満たし、安全に子ども達が楽しめるよう人員配置を行っています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	92%			8%	事業所内をゆっくり見学したことがないのでわかりません。 デイでどのように過ごしたか電子連絡帳で確認できるのでよい。	入り口まではスロープがありバギーでそのまま入室できるようにしています。室内では子ども達が主体的に自分の身の回りのことを自分でできるよう環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				適切だと感じる。	今後も子どもにとっても保護者にとっても、お家のように安心して過ごせる環境設定に努めています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%			8%	何を目標にするか一緒に考えている。	今後も個別性を大切に、ひとりひとりの特性に合った支援を提供できるよう尽力してまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92%			8%	具体的な内容になっていると思う。	子どもひとりひとりの成長発達を支えられるよう	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85%			15%	季節の行事も取り入れてもらっている。	今後も子ども達が飽きないように楽しみながら成長	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	14%	14%		72%	お休みすることも多いためイベントに参加できていないだけかもしれない。 兄弟児を含む家族参加行事で交流ができています。	保育所等との交流は現在行っておりません。今後地域ともしっかりと交流する機会を設けられるよう計画していきます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	85%			15%			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				デイでの話を聞くのと連絡帳を読むのがとても楽しみ。	今後も保護者との信頼関係を維持していけるようスタッフ一同尽力してまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	78%			22%			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%				いつも相談に乗っていただいている。	困り感を感じた時にすぐに相談したい場所として思い浮かべていただけるような事業所であるよう、尽力してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%				Instagramをよく見えています。	今後もデイでの様子の写真や動画を保護者へお送りしたりSNSを活用してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	85%			15%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				大変楽しみにしていて、帰ってきてから泣かないように頑張っています。	今後も子ども達に通所を楽しみにしてもらえよう事業所・スタッフであるよう尽力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				とても満足しています。	子どもだけではなく保護者の皆さまにもご満足いただけるよう、尽力してまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもデイサービス にこり	公表日	2025 年 4 月 1 日
------	---------------	-----	----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	18%	82%	整理整頓を心がけ、可能な限りスペースを確保して安全に活動できるよう努めている。	こども達の安全を守り楽しいを最大限引き出せるような環境設定に努めていく。
	2	18%	82%	配置基準や医ケア区分に対する看護師配置を行うも、現場で人手が足りないと感じることが多い。可能な限りシフト調整を行っている。	基準を満たした上で現場が安全に楽しく活動できる人員配置に努めていく。
	3	50%	50%	事業所内でこども達が主体的に身の回りのことをできるように環境設定を行っている。	よりわかりやすく、絵カード等様々な感覚からアプローチできるように配慮を行っている。
	4	82%	18%	降園後は毎日掃除・消毒を行っている。	定期的に大掃除を行う。
	5	63%	36%	個性に応じて、気持ちを整えるために視覚・聴覚を落ち着かせるような配慮を行っている。訓練時は集中して取り組めるような環境設定を行っている。	よりこども達が安心して過ごせるような環境設定について、都度スタッフで話し合い改善していく。
業務改善	6	73%	27%	個別や共有アプリ上で意見を求め改善するようにしている。	スタッフ全員でのミーティングの時間を設けられるよう調整していく。
	7	100%		保護者からの意見はスタッフに周知し改善方法等検討し改善できるよう努めている。	
	8	100%		個別や共有アプリ上で意見を求め改善するようにしている。	
	9	100%		来客は多く色んなご意見をいただく機会が多い。	引き続き外部からの意見に積極的に耳を傾け業務改善に努めていきたい。
	10	100%		法人全体で研修案内があったり、法人主催の勉強会も開催されている。	引き続き知識・技術向上のための研修の開催や研修参加を促していく。
適切な支援の提	11	100%		スタッフからの意見を取り入れ支援プログラムを作成している。	
	12	100%		保護者との連絡を密に行いニーズを拾いあげ、計画に反映できるよう取り組んでいる。	
	13	100%		多職種で発達評価を定期的実施し、その評価を参考に支援計画を作成している。	
	14	100%		支援計画は全スタッフ閲覧できるようにファイリングしており、日々の気づきは共有アプリで情報共有し共通認識を持って支援にあたるよう努めている。	
	15	100%		事業所独自の発達評価表を作成し使用している。	
	16	100%		それぞれの項目において本人・家族のニーズを取りこぼさないよう情報収集して支援計画を作成している。	
	17	73%	27%	保育士が中心となって立案している。	保育士以外のスタッフもプログラム立案に参加できるようにしていく。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	73%	27%	毎日通うことも飽きずに過ごせるよう、またその日のことも運に合わせて少しずつ内容を変更している。	毎年同じ活動にならないよう、スタッフ全員で意見を出し合っていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個別活動については専門的支援計画を別途立案しより成長発達に繋げられるような支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	55%	45%	スタッフの勤務時間や送迎の関係で支援前の打ち合わせは行っていないが、共有アプリで毎日スケジュールや担当については共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	55%	45%	スタッフの勤務時間や送迎の関係で支援後の打ち合わせは行っていないが、共有アプリで気付いたこと等共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		電子連絡帳を使用しており、入力確認後印刷してファイリングを行っている。連絡帳とは別に、気付きがある時は共有アプリで情報共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6か月以内の計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		管理者が適任者を選任し参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	72%	28%	共有アプリやメール・電話等を使用して情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		並行利用や移行に向けた支援が必要な場合には、電話連絡や来園いただき情報共有を行うようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		就学相談の支援を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		100%		センターには年に一度の情報提供のみとなってしまうため、定期的に情報共有していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%		現在地域の中で他のこどもと活動する機会は設けられていないため、今後そういった機軸を設定していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		管理者と保護者とのLINEで密な連絡を取るようになっている。送迎時なるべく保護者とたくさん会話するよう心がけている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	54%	46%	個別に困り事等について傾聴し助言している。	親子参加型のイベント等を開催し、ご家族の対応力の向上を図れるよう取り組んでいきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		利用開始時に管理者から説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		普段のこども・保護者との+関わりの中からも意向をとりこぼさないよう、気付いたことは記録している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			個別に困り事等について傾聴し助言している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	63%	37%			おまつりや遠足、法人のイベントで保護者が交流できるような機会を設けている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%				相談しやすい関係性でいられるよう日頃から信頼関係構築に努めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%				個別に写真や動画を送信したり、SNS発信を行ったりしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%				ひとりひとりに合ったコミュニケーションを用いて意思の疎通を図るよう努めている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%				年に一度商店街でおまつりを開催している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%				月に1回避難訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%				年に一度情報を取り直し、必要な情報を共有している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%				保護者からの情報をもとに対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%				災害の恐れがある際には事前に家庭内での備えや事業所での備えについて、都度案内を流している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%				共有アプリですぐに共有し再発防止を呼び掛けている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%				虐待についてのレポート提出等定期的実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%				